

環境調査結果のお知らせ

平成29年5月29日午前9時半から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温19～23℃、塩分34～35、溶存酸素量7～8mg/lでした。

透明度は2～4mで、有害種のヘテロシグマ・アカシオ、ケラチウム属、有毒種のアレキサンドリウム属が確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温19.0～23.2℃、塩分33.8～35.0でした。

水温は全層で0.6～2.8℃上昇しました。塩分は表層から2m層及び10m層から底層で0.1～0.2上昇しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量6.9～8.3mg/lでした。

前回調査時と比較して、溶存酸素量は表層から5m層及び底層で0.1～0.5mg/l上昇し、10m層で0.3mg/l減少しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は2.2～4.0mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で9cells/ml、ケラチウム属が最高で4cells/ml、麻痺性貝毒の原因となるアレキサンドリウム属が最高で1cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

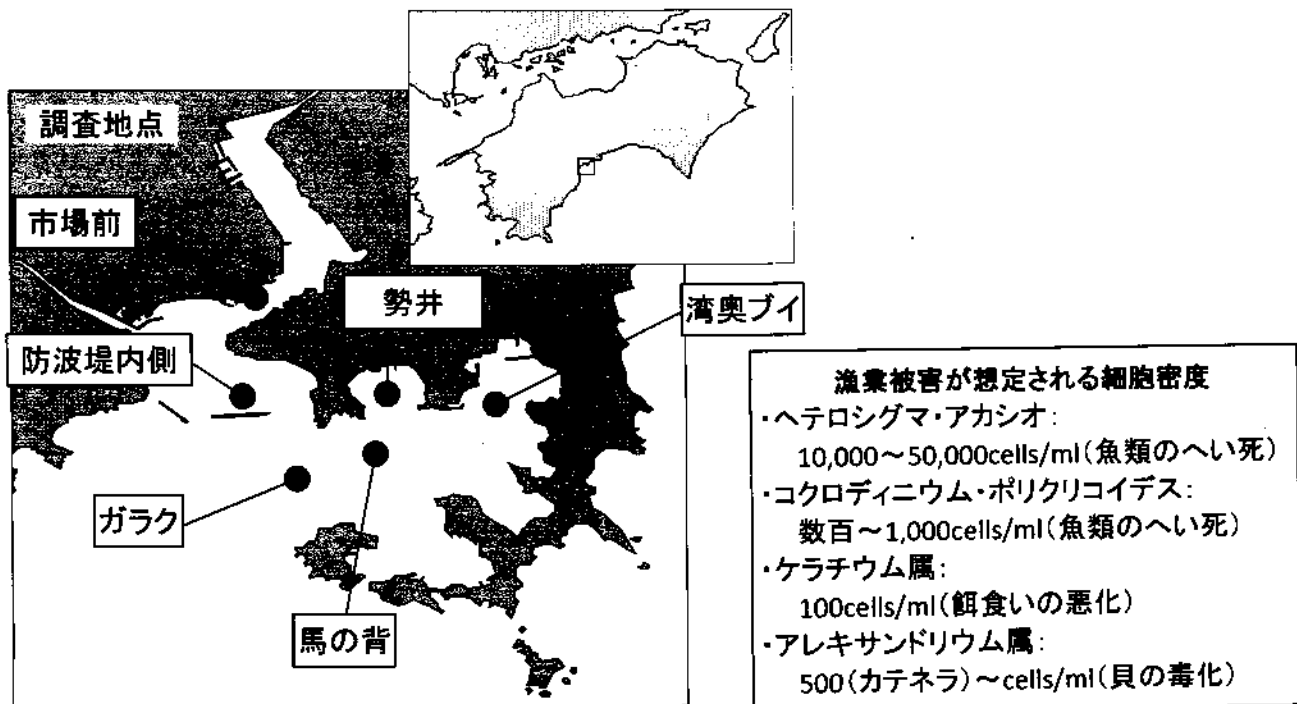


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H29.5.1)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	23.2	22.9	22.5	22.2	22.8	20.0	2.8	22.8
2m	22.5	22.7	22.4	22.1	22.5	19.9	2.6	22.4
5m	22.4	22.1	21.9	22.0	22.1	19.6	2.5	21.8
10m	20.8	20.7	20.5	20.4	20.7	19.3	1.4	21.0
B-1m	19.5	19.0	20.0	19.8	19.5	18.9	0.6	21.0

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H29.5.1)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	34.4	34.4	34.5	33.8	34.4	34.3	0.1	33.4
2m	34.3	34.5	34.5	33.9	34.4	34.3	0.1	33.9
5m	34.4	34.6	34.6	34.3	34.5	34.5	0.0	34.4
10m	34.8	34.8	34.9	34.9	34.8	34.6	0.2	34.7
B-1m	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	34.8	0.2	34.7

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H29.5.1)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	8.3	8.0	7.8	8.1	8.0	7.7	0.3	8.1
2m	8.1	7.9	7.9	8.1	7.9	7.7	0.2	7.9
5m	8.2	8.1	7.7	7.9	8.0	7.9	0.1	7.5
10m	7.0	7.3	7.5	7.2	7.3	7.6	▲0.3	7.1
B-1m	7.0	6.9	7.4	7.1	7.1	6.6	0.5	7.0

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.6	24.3	15.8	16.3	11.9
透明度	3.8	3.2	3.4	4.0	2.2
前回(5/1)	5.6	5.0	6.0	4.0	3.0

表5 プランクトン(cells/ml)

		ヘテロシグマ・アカシオ	コクロディニウム・ポリクリコイデス	ケラチウム属	アレキサンドリウム属	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	3	0	120
	2m	0	0	1	0	69
	5m	0	0	4	0	121
馬の背	0m	0	0	1	0	500
	2m	0	0	2	0	600
	5m	0	0	3	0	300
ガラク	0m	0	0	4	0	300
	2m	0	0	2	0	200
	5m	1	0	3	1	100
津波防波堤内側	0m	0	0	0	0	1,200
	2m	1	0	0	0	1,800
	5m	0	0	0	0	600
市場前	0m	9	0	4	0	6,500
	2m	2	0	1	0	4,000
	5m	0	0	1	0	3,200
白浜	0m	0	0	1	0	113
	2m	0	0	1	0	100
	5m	0	0	2	0	130